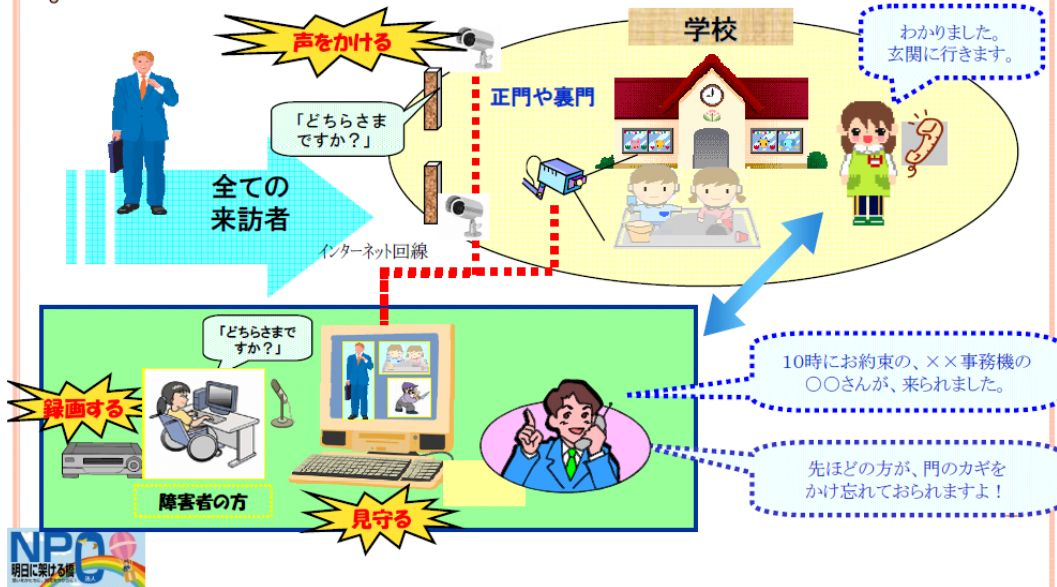


## 地域に開かれた安心できる学校・幼稚園・保育園

無断進入しづらくなる環境をつくり、子どもの安全を守ります。



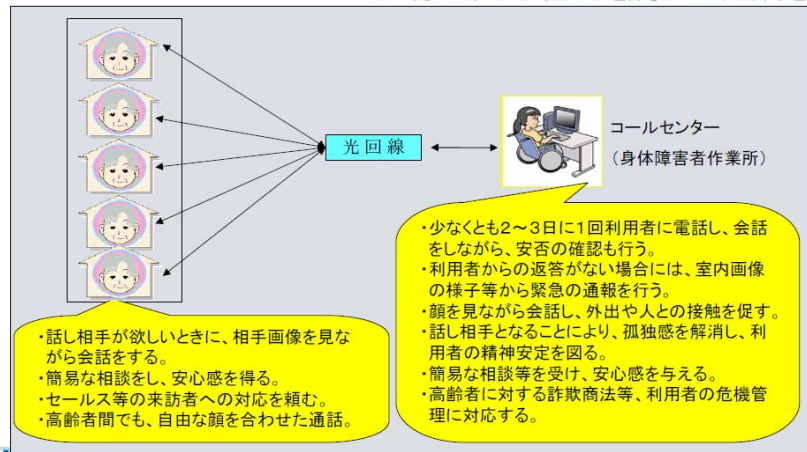
「第7回勉強会資料(NPO法人明日に架ける橋理事長 多田羅穰治氏)」より

### ○ 独居高齢者等の見守りシステムの例

- 一人暮らしの高齢者には、定期的な安否確認はもちろん、相談相手や緊急時の連絡、訪問セールスへの対応等、様々な視点から見守りが必要。
- これらの支援は地域で取り組むべきであり、同じ地域で暮らす職員の顔を見ながら話すことにより、単なる孤独感・疎外感からの脱却はもちろん、地域へ出て行こうとする気持ちが生まれてくる。

## 障害者によるコールセンターの創設へ

※ぬくもりの伝わる「見える電話」による双方向通話



「第7回勉強会資料(NPO法人明日に架ける橋理事長 多田羅穰治氏)」より

## ぬくもりが伝わる「見える電話」

※聾啞者の手話に活用できるように開発されました

映像がきれい！現実感！



操作は簡単！  
話しながらメモもできます。  
※手書き会話（筆談）機能

通信料無料

• 電話回線は使用しないので、通信料は無料。24時間OK

安くてラクラク

• 月額使用料、1,800円（月）…SIPサーバー（中継局）費用  
※機材 198,000円/台

電話よりカンタン

• 受話器を取るだけで通話OK！タッチパネルと手書きメモ機能

「第7回勉強会資料（NPO法人明日に架ける橋  
理事長 多田羅穰治氏）」より

### 〈左図説明〉

- 動画での通信となるので、手話にも対応でき、タッチパネルの採用により画面に直接文字や絵を描いて送ることも可能。
- このシステムにおいても、見守り者には障害者を雇用することで障害者就労支援に貢献。
- 通信料はインターネット光回線利用料（定額）であり、電話通話料は不要。

### 課題

- 技術イノベーションをソーシャルイノベーションへ
  - 技術革新が市場を生み出し社会を変える。（市場が生まれなければ社会は変わらない。）
  - 障害者雇用の促進を合わせて行うなど、障害者や高齢者も社会の一員として巻き込んだ考え方が必要。
- 学校等の見守りシステムの例での課題
  - 学校や保育所側で見守りシステムを導入したくても、初期導入費の予算がないところが多い。貸付制度等の支援策が必要。
- 「緊急通報・見守り」システムの開発
  - 現在のインフラ整備状況を踏まえ、インターネット光通信を活用した「緊急通報・見守り」システムの開発が必要。
  - 開発したシステムの普及への支援策等が必要。
  - 「緊急通報」は広域、「見守り」は地域単位での体制整備が必要。
  - 災害時の支援システムへの発展も視野に入れた開発が必要。

地域での高齢者・障害者の安全確保が重要  
→技術発展に呼応したシステム・体制の推進

光通信に対応した「緊急通報・見守り」システムの開発

「緊急通報」→広域  
「見守り」→地域単位の体制の整備

開発システム普及への支援策、法制度整備

高齢者施設・障害者施設の活動内容の整備

現在、全老健の調査事業で、詳細調査・システム仕様検討を実施中

「第7回勉強会資料（日本電気（株）  
マーケティングマネージャー 北風晴司氏）」より